

質疑応答議事録

工事名：(仮称) 門真市立水桜学園整備工事

日 時：令和 6 (2024) 年 2 月 22 日 (木) 19:00～

場 所：門真市立第四中学校 体育館

【女性 A】

Q1：工事関係大型車両の走行経路近辺に住んでいる者である。脇田小学校より南門側道路にある小さな橋を大型車両が現場に向かって横断する際に断続的に地震のような振動を感じており精神的にこたえている。運転手の力量により振動を感じない時もあるが、運転手へは細心の注意を払って振動が発生しないよう、通行の際に車両速度を落とすとしていただくよう努めていただきたい。

A1：脇田小学校解体工事の工事施工会社である岩田地崎建設(株)より現場状況に関する情報を共有いただくようにしている。運転手によって技量に違いがある中で運転手へどれだけ意識づけることができるかが重要だと考えている。通行の際に減速することを意識させるよう周知徹底していく。

【男性 A】

Q1：先の質疑応答の件、工事車両の出入口から府道 161 号線までの道路の舗装を整備すればいいのではないかと考える。道路地下に水路が通っているが為に 10 t 等の大型車両が走行すると振動レベル 60 dB(震度 1 相当)を超えていると思われる。3 年間にわたって工事をするのであれば工事で通行する道路の表層、基層を整備し、振動が伝わりにくい構造にするようにすればよいのではないか。そうすれば振動による苦情が少なくなると考える。

参考までに、過去に近辺の他業者施工の工事にて自身が振動委員会に立合った際に、ダンプトラックが走行している前に自転車で走る誘導員をつけて時速 5km 以上を強制的に出させないようにしていた。

A1：ご意見いただいた内容については、参考として今後の工事計画に活用させていただく。

Q2：調査していると思うが、地盤の N 値はどのぐらいあるか。

工事敷地内の地盤は砂質なのか粘性なのか。地下水位はどれぐらいか。

A2：地盤の N 値に関して、まず建物に関して、N 値 50 以上の地盤を支持層とし、杭を打つため安心して使用していただきたい。

支持層より浅い所はN値1~30が混在している。地盤の調査結果として粘質であるため液状化は起こりにくいと考えられる。地下水位は地盤面から1m~約1.5mとなっている。

この点を考慮しながら安全に工事できるよう元請会社と検討している。

Q3：今回計画されている水桜学園は防災計画においてどのような位置づけとされているのか。

A3：体育館について災害発生時の避難所として位置付けている。建設にあたりLPガスを動力とした空調設備を採用している。採用経緯としてプロパンガス協会と協定を締結する事で、災害時に優先的に調達することが可能である為である。一定期間であるが最大72時間ガスにて発電する機能を持たせることができ、必要最低限の電気を確保することが可能となる。また、建物全体の床の高さに関しても、過去に床上浸水が発生した地域である為、当時の記録を参考に床上浸水が発生しない校舎の高さを設定している。

都市計画上では明確に防災計画の位置づけではないが、避難所の位置づけとして防災機能をもたせる考えの基、今回整備する。

【男性B】

Q1：公共工事は地域経済を発展することを目的に地元業者を使用すると一般的によく聞かれますが、本工事では地元業者を使用されるのか。使用される予定はあるのか。

A1：確定ではないが、可能な限り使用できるように協力会社は地元あるいは近隣エリアの業者と折衝を重ねていく。

【男性C】

Q1：工事敷地周辺に仮囲いを設置されると思うが、地震等で倒れたりしないか。

A1：仮囲いについて地震等で倒れないよう補強設置していく。

【女性B】

Q1：道路工事時は通行止めになるのか。

A1：道路通行可能な状態で進める。通行止めをする想定はしていない。もし一部通行止めが必要になった場合は個別に相談させていただく。

Q2：公園整備工事とは何の工事か。

現状子供たちがあまり使っていないように見え、溜まり場になる可能性もある。

公園の拡充の必要性はあるのか。

A2：現在の門真南広場の公園機能を拡張したいと考えている。広さは約1,000㎡になる予定であり、現在の公園敷地面積の5~6倍の広さとなる予定。近隣地域の住みやすさ向上になればと考え、計画している。

以前、門真市にて実施した「どんな公園をどんな場所に作りたいのか」というアンケート結果を基に計画している。市が運営し、しっかり管理していく。

【女性 C】

Q1：プロパンガスの保管場所はどこになるのか。

A1：北側の屋内運動場のステージのすぐ北側に保管予定である。

Q2：プロパンガスの搬入口はどこになるのか。

A2：屋内運動場の北東側の門から搬入となる。給食車も含め、北東にある駐車場に止めるようにする。

Q3：約 10 年以上前にプロパンガスの搬入業者の車の火災が発生する事件があり、住宅街を通行するのでプロパンガスの取り扱いは不安である。

A3：今後の計画の参考にさせていただく。

【男性 D】

Q1：テレビの受信障害データはどこでもらえるのか。

A1：データについては現場で管理しており、提供依頼があれば準備する。

Q2：どのタイミングで電波障害の実地調査をするのか。

A2：具体的な時期については調整中。建築工事が進み、電波障害が発生しうるタイミングで実施する予定である。作業進捗により足場やクレーン機が高くなるので、都度障害が発生する可能性がある。電波障害が発生した場合個別にご相談いただけたらと考える。

【男性 E】

Q1：校舎とメイングラウンドの間に道路があり、行き来するため連絡橋を設けると説明があったが、障害のある人はどのような経路で行き来するのか。

A1：東側の正門のすぐ前にグラウンドに入れる門を計画しており、連絡橋は使用せず、道路横断もできるよう計画している。

【男性 A】

Q1：大型建設重機について、どのような重機を使うのか。搬入は通行制限の関係で深夜に行われるのか。

A1：杭打機、クローラクレーンの使用を計画している。

これらは分解された状態で搬入し、現場組立となる。搬入時間については、今後、警察と協議を行うが、おそらく日中搬入は難しく、早朝の搬入になるかと思われる。

Q2：杭打機の工法は何か。

A2：アースオーガを使用して掘削し、既製杭を打ち込む予定である。

Q3：支持層はどのぐらいか。

A3：約 40m 程である。